センターだより

第50号

平成30年7月20日祭行

Aomori Prefectural School Education Center 青森県総合学校教育センター

〒030-0123 青森市大字大矢沢字野田80-2 ☎017-764-1997FAX017-728-6351

研究委員会の紹介

研究委員会では、教育活動に役立つ実践的・先導的な研究の成果を学校現場へ還元するため、 「あおもり教育フェスタ」やWebページ等で、積極的に公表しています。

プロジェクト研究

新学習指導要領実施や本県学校教育課題解決、 各校がめざす「魅力ある学校づくり」等を支援 するため、課の枠を超えて所員が共同で研究を しています。

今年度のプロジェクト研究の内容です。

- ①授業力向上
- ②マネジメント
- ③情報教育
- 4)インクルーシブ教育システム
- ⑤うきうきワクワク学級・ホームルーム経営

研究員研究

県内の小中学校から派遣された16名の研究員が、学校現場での経験及び喫緊の教育に関する課題等を踏まえ、自ら課題を設定して個人研究を行っています。1年目研究員は、7月の「構想発表会」と2月の「研究経過報告会」を全職員に発表し、2年目研究員は、8月の「研究経過報告会」と11月の「あおもり教育フェスタ」での発表を経て、2年間の成果として研究論文を作成し、Webページで公表します。

学校サポート委員会の紹介

学校サポート委員会は、「校内研修等講師派遣事業」を担当しています。6月末現在の申込み状況は、下表のとおりですが、「調査法の活用」「これからの学びにつながる授業力」「特別の教科 道徳」などのテーマでの申込みが非常に多くなっています。

校内研修等講師派遣事業の状況

学校が抱えている教育課題の解決 に向けて、指導主事が講師として校 内研修に出向き、校内研修の活性化 を図り、教育活動を支援します。

派遣予定数 145件 (6月末現在) 受講予定者数 4149人

	テーマ	派遣	
1	調査法の活用(「アセス」「「Q-U」」の理解と活用)	29	
2	2 これからの学びにつながる授業力・主体的・対話的で深い学びの視点で行う授業改善		
3	特別の教科 道徳	22	
4	いじめへの対応•不登校への対応・保護者への対応	17	
5	新学習指導要領に即した指導の在り方	15	
6	特別な配慮が必要な児童生徒への支援	15	
7	個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成・障害特性に応じた指導 他	9	
8	人間関係づくり・ストレスマネジメント・面接相談の進め方 他	8	
9	授業のユニバーサルデザイン化・授業におけるICT活用 他	7	

・申込み多数のため日程が重複して派遣できないケースが増えてきました。是非、近隣の 学校と合同で行う校内研修も御検討ください。

・児童生徒や保護者を含む場合は、本事業の対象となりませんので、御注意願います。

図書資料室から

学校教育に関する書 籍等を多数取り揃えています。

研修で来所されたと きには、ぜひお立ち寄 りください。貸し出し もしています。

入口付 近が新刊 コーナー です。



校長及び教員の資質の向上に関する指標が策定されました

平成29年4月1日に教育公務員特例法の一部が改正となり、校長及び教員の資質の向上に関する指標の全国的整 備が規定されました。これを受け、本県では「青森県教員等資質向上推進協議会」を設置し、今年2月14日「校長及び 教員の資質の向上に関する指標」が策定されました。

この指標の対象は、本県教育委員会が任命する公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の校長、教頭、教 諭、助教諭、養護教諭及び栄養教諭(以下「教員等」という。)です。この指標は、県教育委員会等が主催する校外での 研修や日常的な職場内研修等を通じて教員等の資質の向上を図る際の目安であり、教員等一人一人が教職生活全体 を俯瞰しつつ、自らの職責、経験及び適性に応じて更に高度な段階を目指すための手がかりとなるものです。

木里の物量の姿質の向上に関する指揮(イメージ)

教諭、助教諭、養護 教諭、栄養教諭を対 象とした指標を、A3判 1枚にまとめています。

縦軸には、指標の 内容を、大きなくくりと して「人間力」「指導 カ」「マネジメントカ」 の3観点で整理し、そ の中に項目立てた観 点を職に応じて示し ています。

-	X7-9	採用時	形成期 物性から概括採用3率自まで	同上・発展剤 概和採制の中日から1.6年日まで	光美期 概約採用18年日以降
	服在 原料	,,,,,,	教員としての基礎的な力、教験への後命感、教育公務員としての食覚を寄に 付ける。	実践力を高め、初任者等へ助言する。分本経験の一員として資献できる力を 身に付ける。	等門性を高め、他の教員への助言・支援等、指導的収額を担う。投務分4 の運営における中心的な登録を担う。
人能力	教員としての意義	PRODRE A RESE, NI 場相見、機能はPT CRAMENDS I PRO-CRAME ENDING - ロールーン・アルカ ENDING - PRODRE MERCHEL - IN TOPO CREEK ENDIA D			
	教科等に関する指導		・長郎の・展開ではいずけの東端に向けた投棄がくり		
		(科等に関する基礎的・ (本的な知識・技能	・教材・教具の工夫、児童生徒の学習要款を高める指導	・専門的知識や技術の近用、児童生徒の学習の状況に応じた指揮	高い専門性と多様な教育資展の活用、児童生徒の思考の展開に応じた指
			・他の教践からの学びを生かした授業改善	おもの技能改善や指揮力向上への取削と、初任者等への適切な結合	学校全体の授業力向上につながる場論の推進と指導的投票
	保練管理 保練教育	(精管理に関する高端的・ (水的)な知識・技能	対象を集める身の状態的数。健康推動を明確にした対応	・保保情報を訪用した健康課題の解決に向けた組織的な対応	・整急時の救急体制や心のテアの支援体制づくり、保健管理に関する指導 制
	[RREAL	機能者に関する基礎的。 本的な知識・技能	・学級総任等と連携した保健教育	・受雇生後の実想に基づいた保健教育や情報活動の推進	・学校全体に関わる保険教育の計画の作成、実践、評価、改善への参綱
	北に別する如果 【京東を図】	(食の時期や各款料等におけ ・教育新導に関する基準的・ (本的な知識・技能	・学校総食を生きた教材として活用した食に関する指導、全体計画作成への参 画	・学校設査を生きた教材として温用するための技術・指導力の向上。全体計画等の見渡し	・学校給食を生きた教材として組織的に活用する数の指揮・助賞
0.00		的別的な物語者等に関する 機的・基本的な知識・技術	・食に関する健康課題を有する児童生徒への保証的な知政指導	発達的指令提供的な報道課券器まえた課題的な相談教等。校内の支援体制 づくり	・関係機関等と連携した対応、専門性を生かした指導・助店
n			・児童生徒の現状や背景に対する理解と個性や能力の辞長を促す指導	・短線生徒に関する多面的な情報収集と学年・分享の連携による取組の機構	学校全体の生装物等及びキャリア教育の充実に向けた組織的な影話の推
	生物物學	選生後の成長や延達につい の規能 排除者上の課期をジャイリ	・見象生徒のコミュニケーション能力や社会性を育む指律	・児童生能の社会性を育むための教育活動全体を適じた取締の推進	教育試験全体を適じた地域を推進するための作制づくかと指導的控制
	200700000000000000000000000000000000000	教育についての理解	・振進者や他の影撃員と連携した銀砲的な指導や支援	・保護者や関係機関等と維携した総統約な影響や支援	関係機関等と連携した指導や支援のための体製づくがと指導的収割
	技術物語 [発展表記]	p兼和鉄に架ぐる高橋的・ 本的な知識・技能	児童生活の心身の健康課期を提え、業識教諭の作門性等を生かした健康担訴	児童生徒の心身の健康調解の早期処見及び学校投資の専門購と逮携した健康 報義	- 組織的な機能性間の体制づくりと機能理能の平準解決
	多様性への 理解と教育支援	(株式会の多様的に関する機能	児童生徒の多様性を据えたた教育活動の実施	・児童生化の多様性や個々のニーズに応じた教育活動の報意	児童生徒の多様性や個キのニーズに応じた教育活動の推進及び他の教験 分する治療や定理
		16月な女従及び配着を必要と ・る兄弟士後についての理解	・更能生建製をの特性等に応じた適切な指導と必要な支援、他の影響員や保護者との連携	・児童生徒報々の特性等や状況を踏まえ、再議者や関係機関と週刊した指導や 支援	・延続的・総統的な指導や支援に向けた体制づくり及び関係機関との情報 連携の環境
ī			・学校教育目標の理解と見象生徒の実施に応じた学表経営	学校教育目標の実現に向けた学生・分享経営への参照	学校教育目標の実現に向けた学年・分学級差における指導や支援
	学級・学年経営 及び学校運営	「最級保存に関する基準的・ (本的な知識・技能	・学年主任、分享主任、他の教職員との邀携・協力	・学年・分享経営における課題整理と活性化におけた工夫改善	学校確定全級への非菌と教育活動の活性化
マモジメントカ	6364475000		・女全に配慮した環境整備と収穫に対する報告・連絡・根鉄の徹底	・学校安全に向けた点験の助行と危機の未然防止、平準保証のための延續的な 施証	学校安全の確保と収穫の未然的止、再発防止に向けた組織的な影響の推
	MM 6000	(確定経営に関する妄造的・ に本的な知識・技能	・学校教育目標を理解した毎韓宝経営計画の作成と基礎的な保健室経営	・健康課題解決のための的確な保護室経営計画の作成と保護室経営	・保健総務官を通じた学校教育目標の実現に向けた教育活動の活性化
	manuaces framesia	(権利権活動に関する基礎的・ (本的な知識・技能	・保健王寧等と能力した保健組織活動の企業運営への参展	・活動の内容を工夫した、保健組織活動の企販服装	・保護者や関係機関と連携した保健配施活動の限開
	学校的食の管理 [学者表面]	毎世州及び衛生を用に関する (周が)・高末的な知識・技能	・栄養管理及び衛生管理の重要性の理解と実践	実施に基づいた必要管理及び学校的会報生管理基準に実施した前提的な対応	・安美智権及び衛生管理に関する指導的投制
	別僚との 遺務・協能	≥© #0-#517#66h3	・植物的なコミュニケーションによる良好な人間関係づくりと指導力の向上	・学年や分享における情報や立案の課題整理と事務課館	- 後の学年や分室との連絡調整
		部の規制	- 自らの投資の理解と他の根据員と連携・協議した取組	・経験に応じた役割の理解と影響や助団	- OJT(日本的な職場内研修)の推進を図る体制づくり上指導的管理
	物域社会との	DEや地域社会との連携の名 時に関する理解	・家庭や無規社会との情報共存、連携・協議	・直接や抽解性会、学校群の連携・協働	 単幅の人的・物的資質を採用した協働的な数据や学校取得様の報酬

ステージを設定して います。左から、

横軸には、キャリア

「採用時」

本県の教員として 採用される段階

「形成期」

・初任から概ね採用 5年目まで

「向上·発展期」

・概ね採用6年目か ら15年目まで

「充実期」

・概ね採用16年目 以降

の4段階で示してい ます。

キャリアステージに応じて、それぞれの観点毎に教員等の資質の向上を図る際の目安を示して います。教職生活全体を俯瞰しつつ、更に高度な段階を目指すための手がかりとなるものです。

※講師等の臨時職員については、教諭等と同様に児童生徒の成長を担っていることから、この指標を参考に資質の向上を図 <u>ることが求められています。</u>

校長、教頭を対象とした指標 を、A4判1枚にまとめています。

縦軸には、管理職としての マネジメントの資質が求めら れることから、大きなくくりと して「人間力」「マネジメント 力」の2観点で整理し、それ らの中に「管理職としての素 養」「学校ビジョン構築、教 育課程の管理」「人材育成」 「組織運営・経営資源の活 用」「危機管理」「連携・協 働」の観点を示しています。

県教育委員会は、指標等 の改善を図るため、青森県 教員等資質向上推進協議 会を定期的に開催すること としています。

「青森県教員等資質向上推進協議 会」は、県教育庁(4名)、市町村教育 委員会(3名)、大学(1名)、校長会(4 名)で構成されています。

本県の校長及び教頭の **資質の向上に関する指標(イメージ)**

職観点		校長	教頭
人間 大間 大田職とし 職業倫理の垂範、法令の理解や遵守、誠実・公正な職務の遂行 教育や自校を取り巻く状況の把握、的確かつ迅速な判断 リーダーシップの発揮と自ら学び続ける向上心			
	学校経営ビ ジョン構 築、教育課 程の管理	学校課題を基にした中・長期的な視 点による学校経営ビジョンの設定と 課題に対する的確な対応策の明示 特色ある教育課程の編成と進行状況 の管理	学校経営ビジョンの理解と学校課題 の適切な把握 特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善のための情報収集と整理・ 分析
	人材育成	教職員の現状把握、OJT (日常的な職場内研修) の推進による人材育成と必要な支援・助言、的確な評価	 教職員の同僚性を育む組織風土の醸成、0JTの体制整備
マネジメントカ	組織運営・ 経営資源の 活用	学校の効率的な経営、検証・改善 組織の活性化、業務の負担軽減のた めの基本方針の明示 個々の能力や適性に応じた校務分掌 の配置、適切な労務管理 効果を高める施設管理や設備の充 実、計画的・効率的な予算執行	・学校の効率的な運営に向けた調整、 検証・改善 ・組織の活性化、業務の負担軽減に向けた具体策の提示 ・教職員の職務や健康面・メンタル面 の把握と対応 ・日常的な施設・設備の点検と効率的 な補修・修締計画
	危機管理	学校安全マニュアルの作成と見直 し、学校内外への周知 危機管理体制に基づく迅速で的確な 判断・指示	・学校安全マニュアルの作成に向けた 情報収集と整理 ・学校安全マニュアルの周知・徹底 ・危機管理体制に基づく組織的な取組 の推進
	連携・協働	家庭や地域社会、関係機関等と連 携・協力した学校経営 経営者としての説明責任	・家庭や地域社会、関係機関等との適 切な対応・交渉 ・家庭等に対する学校の教育方針や現 状の発信

横軸には、職として、左から 校長、教頭と示しています。

教頭は、「教育をつかさど る」という職務の性質上、前述 の「教員の資質の向上に関す る指標」に示した「指導力」の 観点にも留意することが求め られています。

指標に関する詳細につい ては、当センターWebペー ジの下記バナーから確認す ることができます。

学校教育全般に役立つ情報

▲ 対表表の対象員の管理 の向上に関する指標

特色ある講座の紹介

新学習指導要領に向けて学びたい先生方のための講座 ~その2~

CO1 「考え、議論する道徳」の授業づくり 研修講座

10月10日(水)、11日(木)開催

申込締切は 9月12日(水)です

問題解決的な 学習の発問は?

教科化になって どう変わるの?

「多面的・多角的に考える」授業は?

「自己を見つめる」 授業は?

「評価」は?

講義や演習を通して「考え、議論 する道徳」の授業への改善を図り ます。

【講義】「特別の教科 道徳」に 求められる授業づくり

(講師) 宇都宮大学大学院 准教授 **和井内 良樹** 氏

学級経営、特別活動、特別支援教育等、 豊富な実践例に基づいた幅広い視点からの 授業実践のヒントがいっぱいの講義です。

あおもり教育フェスタ2018の紹介

とき

平成30年11月16日(金) 平成30年11月17日(土)

ところ

青森県総合学校教育センター

学校事情に合わせて、参加いただけるよう平日・休日 開催を計画しております。どちらか一日でも、ご参加くださ ると幸いです。

【**講演会**:11月17日(土)9:30~12:30の予定】



講師:京都大学大学院教育学研究科

教授 西岡 加名恵 先生

演題:「『資質・能力』を育成するパフォーマンス評価」

http://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/seika/

新しい時代を生きるのに必要な「資質・能力」を、どのように育成すればよいのでしょうか?本講演では、パフォーマンス課題を取り入れることで、子どもたちに「本質的な問い」を深く考えさせるような、カリキュラムや授業の作り方を提案したいと思います。また、探究学習や入試改革において、ポートフォリオがどのように活用されうるかについても、紹介します。(西岡先生より)

=予定している主な内容=

<16日(金)>

☆ 研究指定校実践発表

中泊町立中里小学校·十和田市立第一中学校· 県立三本木高等学校附属中学校

☆ 研究指定校授業公開

青森市立三内中学校·弘前市立千年小学校· 八戸市立小中野小学校

☆ 他県の実践事例発表

学力向上を目指した他県の特色ある取組を紹介します。

☆ 研究員研究発表

当センター2年目研究員による、研究の発表です。

<17日(土)>

☆ 講演会

本県の学校課題に関して、その解決のヒントを見つけられるような講演をしていただきます。

☆ プロジェクト研究発表

当センター所員によるグループ研究の中から、明日から使える 授業アイディア等を提案します。



くお問い合わせ>

<u>Tel:017-764-1990 Fax:017-764-1989</u>山下、田中、大野(青森県総合学校教育センター)

* 発表内容や申込方法等の詳細については、9月に最終案内を各学校・関係機関に送付予定です。 たくさんの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

